

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 高知県 _____

実施担当会員社名	株式会社高知前川種苗	
実施校名	高知市立昭和小学校 2年生 3クラス 特別支援学級 1クラス 合計約 100名	
実施期間	春作 2009年5月上旬 ～ 9月上旬	
栽培品目（品種）	ナス （とげなし千両 ごちそう 米ナス 人生賭ける緑ナス）	
提携協力先		
実施概要	時 期	内 容
	5月14日 6月11日 6月22日 6月下旬 9月4日 9月24日	教室での授業及び苗定植実習 除草・整枝・誘引作業実習 調理実習 特別支援学級のみ対象（ナスカレー等） 給食にナスを使ってもらおう（全学年対象） 最終収穫日（各クラスばらばらに 正式な授業ではありません） 代表の生徒さんから生徒全員の感想文を手渡ししていただきました。
学校からの評価	予想以上に栽培もうまくいき、夏休み終了までナスを沢山収穫できで生徒もよろこんでいたのがよかった。ナスが嫌いだった生徒も自分で作ったものは喜んで食べたようだ。 授業の内容には生徒も興味を持ち良いが、2年生を対象とするにはすこし高度で難しい部分もあった。	
児童からの声	生徒の感想文を提出済み	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	初回ということもあり、また生徒を失望させたくなかったため栽培管理には相当プレッシャーがあった。結果的に管理作業の多くを担当者が行ってしまい、あまり生徒に作業をさせることができなかったと思う。放課後週1回くらい学校に行くこととなり負担ではあった。 春作は先生の異動や行事の多さから、どうしても準備期間が短く、授業時間数を多くとることが学校の負担になりそうではできなかった。 時間数の制約もありナスの栽培などはある程度説明できたが、「タネ」のお話はあまりできなかった。 なににせよ嬉しそうに収穫する姿、熱心に授業をきいてくれた生徒たちの姿に感動しました。	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 高知県

実施担当会員社名	株式会社高知前川種苗	
実施校名	高知市立昭和小学校 1年生 4クラス 特別支援学級 1クラス 合計約 100名	
実施期間	春作 2009年9月上旬 ～ 11月下旬	
栽培品目（品種）	カブ（弘岡カブ）	
提携協力先		
実施概要	時 期	内 容
	9月8日	第1回授業 教室での授業及びたねまき
	9月24日	第2回授業 畑でのおはなし旱害のため追いまきおよび 1回目播種分の間引き実習
	10月20日	第3回授業 畑でのおはなし、間引き実習
	11月11日	（四国ブロック食育関連の報告会議 徳島にて）
	11月27日	第4回授業 畑で紙芝居を使ったべもの・タネのお話。全員で収穫。
	12月上旬	給食にカブを出していただく（全学年対象）
	1月17日	特別支援学級の収穫祭に参加予定
	1月20日	中国四国農政局にて食育関連会議出席予定
学校からの評価	最終評価は後日の打ち合わせでいただく予定です。 他の管理作物にくらべよくとれて好感触でした。	
児童からの声	冬休み期間中のためまだ確認がとれません	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	<p>春作の反省をもとに、畑での説明にも紙芝居をつくり分かりやすく興味ももてる授業を心がけた。時間数も夏前から打ち合わせをして多く取れた。</p> <p>播種直後の旱害でまきなおしを余儀なくされ、作柄が心配されたが、そこそこ大きなカブもとれた。きびしい条件をタネの状態でごえること、カブをそのままおいておけば花が咲き種子ができ命が繋がっていくこと、その命の流れを断ち切って人間は命をいただいていることなどを、実例を示して説明することができたので、旱害のトラブルも結果的には良かったんじゃないかと思う。</p> <p>春作、秋作を通じ、学校の選定・先生との時間調整には苦慮した。高知県は全国的に学力の評価が低く、先生もこの対策に苦慮しているため、高学年を対象に食育授業を行うことは次年度も困難だともわれる。低学年向きの授業マニュアルがあるとありがたい。作業的、時間的に担当会社の負担が大きく、県内のほかの会員に次年度授業を担当</p>	

	<p>してもらうのは気がひける。ずっと同じ種苗店が担当となりかねないのではないだろうか。</p>
--	--